

議会だより

2015

平成27年8月1日発行

No.16



はっしゃ～プール遊び～

Contents

平成27年度補正予算を可決

- ② 議案採決結果
- ③ 6月補正予算
- ④ 6月定例会議案審議
- ⑤ 6月定例会委員会審議
- ⑥ 委員会報告
- ⑩ いっぺん来てつか 議会報告会
- ⑫ PFI問題対策特別委員会報告
- ⑭ 11人が町の考えを問う 一般質問
- ⑳ 議会からこんにちは 吉野公民館『フラダンス同好会』

議案採決結果を公表します

全ての議案等に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

議案名等	議員名	議席番号		議決結果	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
		賛成	反対		関洋三	竹林昌秀	川西米希子	田岡秀俊	合田正夫	三好郁雄	白川正樹	本屋敷崇	白川年男	白川皆男	大西樹	藤田昌大	松下一美	三好勝利	大西豊	川原茂行	
平成27年第3回臨時会 (会期:平成27年4月30日)																					
追加日程第1	本屋敷崇議員の議員辞職について	13	0	許	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第1号	専決処分の承認について(まんのう町情報公開条例の一部改正について)	13	0	承	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第2号	専決処分の承認について(まんのう町税条例の一部改正について)	13	0	承	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第3号	専決処分の承認について(まんのう町国民健康保険税条例の一部改正について)	13	0	承	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第4号	まんのう町若者定住促進条例の一部改正について	13	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第5号	教育委員会委員任命の同意について	13	0	同	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	P4

(議長 議席番号16番)

議案名等	議員名	議席番号		議決結果	15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	関連ページ
		賛成	反対		関洋三	竹林昌秀	川西米希子	田岡秀俊	合田正夫	三好郁雄	白川正樹	白川年男	白川皆男	大西樹	藤田昌大	松下一美	三好勝利	大西豊	川原茂行	欠員	
平成27年第2回定例会 (会期:平成27年6月19日~7月1日)																					
発委第1号	まんのう町議会会議規則の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
発委第2号	まんのう町議会傍聴規則の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第1号	まんのう町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第2号	まんのう町診療所管理運営事業基金条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第3号	香川県市町総合事務組合規約の一部変更について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
議案第4号	平成27年度まんのう町一般会計補正予算(案)第1号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5
議案第1号	非核平和都市宣言に関する決議案について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5
議案第5号	工事請負契約の締結について(平成27年度高篠小学校校舎棟等大規模改修工事)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5
議案第6号	財産の取得について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5
	閉会中の継続調査について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5
平成27年第4回臨時議会 (会期:平成27年7月15日)																					
議案第1号	まんのう町認定こども園条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4
推薦第1号	農業委員会委員となるべき者の推薦について	14	0	推	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4

※可-可決 否-否決 認-認定 不-不認定 推-推薦 継-継続審査 同-同意 ○賛成 ×-反対 承-承認 許-許可
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号15番)

平成27年6月定例会

開催期間 6月19日～7月1日(13日間)

4,900万円を

増額補正

6月定例会は、6月19日から7月1日までの会期で開き平成27年度まんのう町一般会計6月補正予算や町特別職の非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、町診療所管理運営事業基金条例の一部改正などの8議案を可決承認した。

平成27年第3回臨時会

開催日 4月30日

第3回臨時会を4月30日に行い、専決処分の承認、町若者定住促進条例の一部改正など6議案を可決承認した。

平成27年第4回臨時会

開催日 7月15日

第4回臨時会を7月15日に行い、認定こども園条例の一部改正を可決し、農業委員会委員の推薦をした。

会計名	補正額	予算総額
一般会計	4982万6千円	117億1682万6千円

平成27年度6月補正の主な内容

事業名	目的別名	予算額(概算金額)
高篠小学校 校舎棟等大規模改修工事(追加分)	教育費	4000万円
高篠小学校 屋内運動場天井撤去工事(追加分)	教育費	800万円

●平成27年

第3回臨時会

追加日程第1

本屋敷 宗議員の議員辞職

平成27年4月30日付けで一身上の都合により議員辞職願いの提出があった。



議案第1号

専決処分の承認(まんのう町情報公開条例の一部改正)

上位法改正に伴い、「特定独立行政法人」を廃止し、「行政執行法人」を設けた。



議案第2号

専決処分の承認(まんのう町税条例の一部改正)

法令の改正により軽自動車税の標準税率が引き上げになった。



議案第3号

専決処分の承認(まんのう町国民健康保険条例の一部改正)

国保税の課税限度額を引き上げて、低所得者への軽減を拡大した。



議案第4号

まんのう町若者定住促進条例の一部改正

中古住宅の購入にも、助成金を支給することを明文化した。



議案第5号

教育委員会委員任命の同意

教育委員

○四條 貞廣 美津子 氏



第4回臨時会

議案第1号

まんのう町認定こども園条例の一部改正

仲南地区の幼保施設を統合し、園舎の位置を変更する。



推薦第1号

農業委員会委員となるべき者の推薦

被推薦者

○造田 森本 利治 氏

○吉野 有信 隆雄 氏

○四條 亀田 安信 氏

○七箇 近石 修 氏



●平成27年

6月定例会

即決案件

発委第1号

まんのう町議会会議規則の一部改正

女性議員の欠席理由に出席を認めた。

(出席のため、出席できない時は、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届けを提出)



発委第2号

まんのう町議会傍聴規則の一部改正

傍聴席への杖の持ち込みが可能になった。



議案第1号

まんのう町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

非常勤職員の出席を実費弁償できるように改正した。



議案第2号

まんのう町診療所管理運営事業基金条例の一部改正

本年度から、国の特別調整交付金を受けるために改正した。



議案第3号

香川県市町総合事務組合規約の一部変更

加入している組織の名称変更に伴う条文の文言修正である。



非核平和都市宣言

発議第1号

非核平和都市宣言に関する決議案について

【提出者】藤田昌大議員

【賛成者】松下一美議員



【提案理由】

今年はあるいまわしい大戦後70年をむかえる節目の年である。

広島、長崎で多くの尊い生命が奪われた。

二度と戦争はしないとの精神の下、世界に誇る平和憲法が制定されている。

まんのう町議会において「非核平和都市宣言」の決議をおこなうよう提出する。

【決議案】 原案抜粋

世界の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の念願である。

まんのう町は、非核三原則の完全な遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。

我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の町民生活の中に生かし、子々孫々継承するために、非核・平和のまちたることを厳粛に宣言する。

議案第5号

工事請負契約の締結（平成27年度高篠小学校校舎棟等大規模改修工事）

天井内装の改修工事の契約の承認をした。

【契約者】まんのう経常建設共同企業体
【契約金額】金9558万円



議案第6号

財産の取得

老朽化のため新たな特殊車両（バキュームカー）の購入の承認をした。

【契約者】香川いすゞ自動車株式会社
【契約金額】金828万3600円



エコパネル式バキュームカー（イメージ）

付託案件

予算決算特別委員会

議案第4号

平成27年度まんのう町一般会計補正予算第1号

執行部に案件に対する詳細な説明を求め審査を行った。

●主な質疑と答弁

こども未来夢基金

【委員】基金10億円の利子を1050万円と見積もる根拠は何か。

【総務課長】国債を購入することにより発生する利子でその額もほぼ確定している。子ども未来夢基金活用事業の予算は、この利子分1050万円を充てている。

高篠小学校校舎棟等大規模改修工事費

大規模改修工事費

【委員】給食の調理作業の効率を上げるためにも調理場の機器の配置や動線については、現場従事者の意見を設計に反映させていくべきである。

【学校教育課長】現場の意見を十分に聞きながら事業を行っていきたい。



その他、公共施設の雨漏りについて適正な管理が必要。屋根の形や素材については十分な検討を行うべきとの意見もあった。

他にも活発な質疑、意見等も出され慎重に審査を行った。

教育民生常任委員会

●仲南こども園 ●医療と介護 ●教育 ●通学バス ●子育て支援 ●病児、病後児 ●健康増進



仲南こども園

【百川正樹委員】法面がくずれている。手直しの必要があるのではないか。
 【学校教育課長】上部の樹木の影響があるようで、業者と手直しについて協議を行っている。

仲南こども園 安全を最優先に



教育民生常任委員会

医療と介護 連携・情報交換を

【川西米希子委員】地元でも歯科の訪問診療を必要としている人はいらぬのではないかと。ケア会議に診療所内科・歯科医師の参加も必要なのではないかと。

【福祉保険課長】ケアシステムの実現にあたり、地域ケア会議の推進は重要。歯科診療医師、医師会とも相談していく。



教育 教育大綱

【田岡秀俊委員】教育大綱を策定する町総合会議の予定は。

【教育長】現在、事務局で大綱の骨子案を作っている。作成後、教育委員会に諮り総合教育会議を開いて、今年度中に策定する。

通学バス 今後も安全運行を

【百川年男委員】通学バスの運行業務委託の変更について説明を求めらる。

【学校教育課長】今年、入札を行い、町内業者でもある「琴空バス」と

契約を行った。補助席にもシートベルトを設置するなど安全面も遵守されている。



今日も元気に通学

子育て支援 どの子もすこやかに

【川西米希子委員】早期支援が必要なもののため、ひき続き専門家による幼保施設の巡回は行われているのか。

【学校教育課長】ひき続き実施している。昨年度は、保健師、早期支援教育コーディネーターが、保育所19件、幼稚園39件、小学校38件、中学校8件巡回相談を行った。

病児、病後児 働く保護者の後押しを

【三好勝利委員】本町に病児、病後児施設はできないのか。
 【学校教育課長】今後、十分検討していきたい。

健康増進 もっとアピールを



いっしょに楽しく

【百川正樹委員】町民の健康増進のためフィットネスなどの利用者をもっと増やすべきではないか。積極的な啓発が必要と思うが。

【健康増進課長】今後も適正利用を図っていきたい。若い人は、スポーツセンターまんのうも利用している。仲南会場は利用が少ないので啓発していきたい。

建設経済常任委員会

●プレミアム商品券 ●農地中間管理機構 ●ほ場整備 ●災害 ●水道



建設経済常任委員会

プレミアム商品券 経済効果に期待

【竹林昌秀委員】「地方創生」の大きな施策である。売れ行きは。

【産業経済課長】有効応募総数は2,026通、申込金額は約1億6千500万となっている。

二次販売を行い、目標の2億円分を完売したい。

【合田正夫委員】申し込みが少なかつた要因についてはどう考えている。

【産業経済課長】有効期限が6ヶ月と短いこと、往復はがきでの手続きが煩わしいこと、申し込み多数の場合、抽選となると周知したことが要因と考えている。

農地中間管理機構 未来を築く

【川原茂行委員】現在までの実績、問題等について問う。

【産業経済課長】全国的に低調であるが、本町は、集積面積は目標に達している。貸し手の農家は条件の厳しい山間地に多く、借り手側は、平坦地ほ場整備が完了した農地を希望している為条件が合わない。山間部の農地には鳥獣被害の少ない作物を考える必要がある。

ほ場整備 よい農地になるように

【川原茂行委員】耕作放棄地の解消や農地の集約化のための施策や計画については将来的なことを考えると、ほ場整備とパイ配管はセットと考えた方がよいのではないか。

【産業経済課長】ほ場整備や灌がい用パイ配管の布設などの整備は農地利用促進につながると考えている。



すすむ町道整備

災害 すみやかに復旧を

【合田正夫委員】町道長谷吹佐古線の災害復旧工事のひとつが進捗率0%となっているが、どうしてなのか。

【建設土地改良課】工事箇所が2箇所あり、同時施工の場合、全面通行止めとなる。

う回路がないため、利用者に不便をかけることから時差を設けた。

水道 未給水地区解消へ



谷水を利用した貯水タンク（琴南地区勝浦）

【竹林昌秀委員】琴南地区には、水道水の未給水地区がある。

広域水道事業化にむけて、この問題にも取り組んでもらうことはできないのか。

【水道課長】地理的条件、膨大な事業費、相応な受益者負担から、町単独での事業は今後も厳しいと考えている。未給水地域の解消という理念は失うものではないので広域化で取り組む方が有効である。

総務常任委員会

- 仲南支所
- 防災
- 若者定住促進
- 振興公社
- あいあいタクシー
- まんのう公園
- モンスターバスシュ
- 地域おこし協力隊



総務常任委員会

仲南支所 住民の思いを

〔松下一美委員〕旧・公民館周辺の整備時に、支障となる樹木については、地元住民とさらに十分な協議を重ねて納得のいく結果に持っていくべきでは。

〔仲南支所長〕支障木等の処理方法については周辺整備検討委員会から答申をもらっている。

防災 早急に十分な周知を

〔藤田昌大委員〕町が防災の出前講座を行っているが、受講希望の団体が現在のところないのはどうゆうことなのか。

〔総務課長〕まだ、年度初めであり、現在、町政懇談会の場で周知を行っている最中である。今後申込みが入って来ると考えている。

若者定住促進 さらなる町に若者を

〔大西樹委員〕住宅取得補助金の現在までの申請状況は。

〔総務課長〕現在、申請件数は18件、交付金額約1800万円。四条地区、高篠地区への移住者が多い。

振興公社 経営努力に期待

〔大西豊委員〕琴南、仲南、両振興公社とグリーンパークまんのうの経営状態が上向いている要因についてのどのように分析しているのか。

〔産業経済課長〕琴南振興公社は、サービスの充実による集客や経費削減等の努力により黒字に転換。仲南振興公社は温泉部門でエコキュート導入により燃料費の縮減等による売上減がカバーできた。

グリーンパークまんのうは、モンスターバスシュ開催時の売り上げが伸び黒字に転じた。



夢があふれるマイホーム（イメージ）

あいあいタクシー 待ちのぞむエリア拡大

〔三好郁雄委員〕エリア見直しの進捗状況は。また、事業者間の意思の統一が難しいのなら、今後は個別に協力してくれる事業者と交渉を進めてはどうか。

〔企画政策課長〕町内の協力業者と再度の協議を行ったが、理解を得ることはできなかった。今後も話し合いの努力を重ねていきたい。

まんのう公園 さらなる活用・町を元気に

〔藤田昌大委員〕国営公園に働きかけモンスターバスシュ以外にも定期的に大きなイベントを開催する

よう提言していくことが必要ではないのか。

〔産業経済課長〕地域活性化のため、まんのう公園という資源を有効に活用していけるよう公園側とも協議を行っていきたい。

モンスターバスシュ 安心、安全第一で

〔三好郁雄委員〕全国から多くの人が集まってくる。交通事故の防止や治安上のことでも考慮して対策を講じていく必要がある、また、宿がとれない観客の受け入れ方法も今後考えていくべきではないか。

〔企画政策課長〕主催者側、警察と連携をとって開催時の安全治安の維持に努めていきたい。

地域おこし協力隊 熱意ある人を

〔藤田昌大委員〕求人説明会への反応と応募は。

〔企画政策課長〕説明会への参加者は、東京、大阪会場それぞれ5名程度であった。その他、電話での問い合わせが2件あった。人選については、熱意を持って地域への協力を担ってくれる人を慎重に選びたい。

第5回政策充実特別委員会

地方創生・まち・ひと・しごと・総合戦略

国の総合戦略

- ① 人口減少問題の克服（人口減少の歯止め・東京一極集中の是正）
- ② 成長戦略の確保（2050年代に実質GDP成長率1.5％2％維持）

まんのう町の総合戦略

① 策定の趣旨

- ・ 国及び県が策定する総合戦略を踏まえ、まんのう町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。本町が安定した人口構造を保持し若い世代を中心に将来にわたって町民が安心して働き・結婚・出産・子育ての希望を叶えることが出来る地域社会の構築を目指す。

② 策定内容及び目標年次

- ・ 人口ビジョンは町の人口現状や将来推計とともに、人口変化の影響等の分析を行い、総合戦略による施策の方向性を踏まえ、人口将来展望を定める。
- ・ 国の長期ビジョンを踏まえ2060（平成72年）年度を目標とする。

・ 創生総合戦略

本町における基本目標および達成に向けて取り組むべき施策の基本的方向、具体的施策、重要業績評価指標（KPI）を定める。

- ・ 総合戦略の計画期間は2015（平成27年）年度～2019（平成31年）年度までの5ヶ年とする。
- ・ また、毎年度PDCAサイクルによる検証を行い、必要に応じて見直しを行うものとする。

③ 推進体制

- ・ 創生総合戦略推進本部（計画の策定）
- ・ 創生有識者会議（意見提言施策の成果の検証）
- ・ 創生総合戦略策定推進委員会（計画素案の策定）
- ・ 住民参加

④ 策定スケジュール

- ・ 以上の報告を受け、委員より職員および議員全員が共通の認識を持ち、重点項目に絞って早急に計画を立てる。企画政策課長より10月末までには計画を立てるに報告をしていきたい。

創生総合戦略の案件は（議会基本条例9条（議会の議決事件）（1）

まんのう町総合計画に関する中期計画の策定及び変更）に謳われており、今後、月に1回程度委員会を開催し、住み良い街づくりを進めるため今後も提言していく。

取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。



アロハ（こんにちは）



春の運動会



完成した子ども園



七夕かざり

吉野公民館ではたくさんの地域の皆さんが七夕の飾りをされていました。

いっしょにぶん来てつか

もっと身近な議会に！



議会報告会の開催

議会報告は、議会活動・町政について、直接報告するとともに自由に情報や意見交換をする場として、開催しています。

5月12日、13日の2日間町内会場において開催し、69名の皆さんと町の課題、これからの展望について有意義な意見交換を行うことができました。その中から、いくつかご紹介致します。

選挙

**選挙は大切や
遅れた理由はなんな**

問 一般の香川県議選において、投票入場券が届くのが大変遅かった。

このことが、期日前投票の減少にも繋がったのではないのか。議会としても今後はこのような事が無いようにしっかりと対応してもらいたい。



答

この問題は、すでに議会も確認しているが、町選管が、郵便局に配達依頼をした日時設定に問題はなかった。しかし、配達段階で遅れが生じてしまった。

ただし、今後このようなことがないように選管に申し入れをする。

交通安全

**役目を果たさない
カーブミラーが多いで**

問 設置場所、角度について総点検が必要だと思うが。

答 関係機関の中でも話し合っていく。



公共施設

いつまでほっとくん

問 老朽化した公共の建物が使われずそのまま残されているところもある。災害等を考えると危険である。解体など早急な対応をするべきではないのか。

答 町が順次整備をすすめているところである。

地方創生

**お互いに知恵をださな
いかな**

問 まんのう町は町外との行き来がしやすい位置にある。われわれはその立地上の利点を大いに生かして町発展を考えるべきでは。

答 議会としても、まんのう町の活性化にむけて真剣に検討している。町民の皆さんも案があればどんどん出して頂きたい。





有害鳥獣駆除

もっと、力を入れても
ええんでないんな

問

イノシシや、さるの被害に生活が脅かされて困っている。他の県では駆除に対する助成金が多いところもあると聞く。増額はできないのか。

答

自治体独自の施策として増額も必要であると思うが、議会としてはあらゆる角度から話し合っていきたい。



まんのう町 男女共同参画社会

女性の声もいって

問

もっと女性が社会に対して声を出すべき。女性の声が生かせる町づくりが必要と感じています。

答

本町にも、男女共同参画推進協議会があり、会員の皆さんを中心に「女性が輝く社会」をめざして意欲的に活動してくれている。町民の皆さんのさらなるご協力をお願いしたい。



火災

万が一の時は
大丈夫な

問

火災の時に必要な防火水槽の管理はどこがしているのか。

答

町の防火水槽の設置及び、管理は総務課である。常に使えるよう管理している。

ゴルフ場

町に入る税金を
増やさないかんで

問

町内に4箇所あるゴルフ場の利用税はどのくらい町に入っているのか。

答

年間5千万円程である。

報告会では出された要望等で、町執行部側の対応を求めるものについては、各常任委員会の中で委員より担当課に伝えていきます。

● 損害賠償の求め ● 再発防止策の提案へ



第三者委員会

年度内決着のために

施工の品質問題はほぼ解決したものの、損害賠償の内容や再発防止策を第三者委員会へ依頼するかどうかなど、具体策を協議しました。

解決に向かう

施工の品質問題

4月8日には、施工の品質問題を第三者委員会で審議した取り扱いの説明を受けて、以下のとおり対応を承認して、実施の確認を行う。

- ・ 追加施工 10項目
- ・ 修繕 28項目
- ・ 調査や確認 2項目
- ・ 維持管理は事後報告で足りる

補修17項目を承認

6月10日は、中学校対策室より、既に5月22日付で議員全員へ配付してある「品質問題解決計画書」に基づく、17項目の補修報告を受けて、これを了承した。

残るは雨漏り

6月21日のPFI問題第三者委員会では、残りの品質問題への対応を協議して、一部中国の分工場での製造も含む台湾製のガラスはJIS規格に相当すると調査報告が出された。体育館の雨漏りが残る課題である。

支払の承認

・ 維持管理の平成26年度の第4四半期分1,738万4千円の支払いを承認した。

・ 第三者委員会に次の意見を求める。

A) 契約不履行による損害賠償請求の方法

PFI 問題対策特別委員会報告

PFI 問題特別委員会は、3 月定例会以後 3 回開催しています。

● 雨漏り対策



図書館 生徒の情報利用

- ① 町長の交渉の融通を持たせる。
- ② 相手が会社として、可能な形態を求める。
- ③ 町に当事者としての主体性の発揮を求める。

- ④ 第三者委員会の審議を踏まえて、問題決着に導く。
- ⑤ 今年度内決着のために、第三者委員会の開催頻度を上げる。

損害賠償は

B) 再発防止策への提言
 ・ 今後は、通常運用体制の確立を目指す。

5月14日には、損害賠償と再発防止策の検討を、第三者委員会へ依頼する手順などを協議した。

弁護士との意見交換

6月10日には、町の顧問弁護士から、損害賠償をめぐる説明を受けて、意見交換した。

議員が問う 損失 故意謝罪

委員より、体育館を利用出来なかった損失等を問えるはずである。間柱の本数が違うこと等は、専門家が見過ごすことはあり得ず、故意に当たるとはならないか。

また、施工監理の責任を問うべきである。
 そして、相手会社の不履行が町の信用を失墜させたとすれば、それは問えるはずだ。

早期解決の支援を

最後に、町長より相手会社も早期解決を希望している。顧問弁護士との協議を得て折衝するので、議会の

道のりを模索

しかし、議長名で依頼した損害賠償と再発防止策の検討は、第三者委員会に与えられた役割でないと、取り上げられないことになった。

議会は、第三者委員会の意見を基にして、解決に向かおうとしていたが、決着への道のりは未だ模索の段階にある。



ストレッチ・バイク・ウォーク

協力をお願いするとの挨拶を受けて、閉会した。

議員名	質問内容
竹林 昌秀	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方創生」への取り組み姿勢と手法を問う ・平成 26 年度決算余剰金(繰越金)の扱い方を問う ・P F I 問題の解決に向けての手順、手法、そして展望を問う
川西米希子	<ul style="list-style-type: none"> ・ご当地婚姻届、ご当地出生届の作成 ・学校における主権者教育
松下 一美	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税について ・子ども未来夢基金について
田岡 秀俊	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー制度への対応は ・満濃池一周コースの整備は
大西 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・分別収集(資源ごみ)の黒字化
川原 茂行	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体組織のあり方について
三好 勝利	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少中学生の医療費の支払い制度について ・イノシシ捕獲の奨励金は
藤田 昌大	<ul style="list-style-type: none"> ・町制十周年について ・公民館の耐震化及び全体計画は ・公共交通網の再編
白川 年男	<ul style="list-style-type: none"> ・土器川等河川の整備について ・葉草、葉木を通して森林整備を考える
白川 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・戦没者追悼式 ・国道 377 号線関連の改修 ・ふるさと納税
合田 正夫	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度育樹祭の取組について ・イノシシ肉の処理について

議員
↓
町長

議員が町の考えを問う

6月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ(議会情報)に掲載していますので、ご覧ください。

まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

地方創生

問 戦略はあるのか

答 「まち・ひと・しごと創生」総合戦略推進本部」を設置

竹林「地方創生」をどのように理解しているのか。

町長「まち・ひと・しごと創生」は、人口減少を食い止めることに主眼を置いた政策である。重要業績評価指標が求められ、PDCAサイクルを使う成果主義が謳われている。

竹林 地方創生の推進手法と日程、またその体制を問う。

町長 「町版人口ビジョン」及び「同総合戦略」を策定するために「創生総合戦略推進本部」を立ち上げた。

次に、提言を頂き、成果の検証へのために、「同創生有識者会議」を設置した。策定作業のため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委員会」を組織し、まちの創生、ひとの創生、しごとの創生の3つのテーマ部会と、琴南、満濃、中南地域部会を設置した。10月末の完了を目標とする。過去の地域活性化事業は、概ねハード事業であり、従来には無かったソフト事業に力を注ぐ。

平成26年度決算余剰金の扱い

問 有効に使い切る運用を

答 特別債の繰上償還に

竹林 年度の決算剰余金(繰越金)が9億2千万円にも上り、財政調整基金も42億円もある。「その年の歳入はその年の住民のために使う。」原則に則り、有効に使い切る運用を求める。

町長 財政調整基金は、これ以上積み上げないように県の指導を受けており、5億8千万円を合併特別債の繰り上げ償還に充当し、3億3千万円を補正予算財源にする。

竹林 公共インフラの整備は、完成後利用する住民が償還を負担するのが、地方債の原則である。繰り上げ償還は衡平を欠くので、住民からの要望の強い使い道を見出したい。本町の実質公債比率は8.5であり、極めて安全な水準である。

町長 財政の合併特別措置の期限到来に備えて、131億円ある起債残高を減じたい。



竹林 昌秀 議員

町のPR(地方創生)

問

「婚姻、出生届」
ご当地版を

答

速やかに作成に向け検討

川西 若者の定住促進や、愛着増進等につながるとして、地元の特産品や風景などその自治体ならではの独自のデザインをあしらったご当地版「出生届」の作成が全国的に広がっている。まんのう町版の作成を。



町長 元気で遊び心溢れる町のイメージアップやセールスポイントを伝えることは、定住に関心を持つ人が増加する可能性は予想されるため前向きに進めていく。

18才選挙権

問

まず興味、関心を

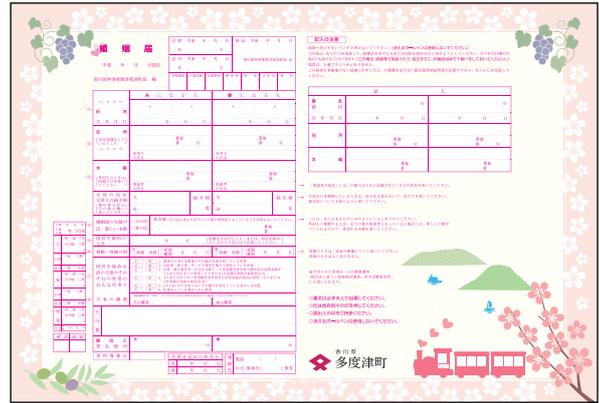
答

投票体験を検討

川西 改正公職選挙法が成立。今後は、高校生の一部にも選挙権が与えられることになる。小中学校にお



川西 米希子 議員



町からの祝福の思いをこめて、ご当地版を
(掲載は多度津町版)

る主権者教育について、どう考え、どう取り組むのか。

教育長

自ら考え、判断、行動する「自立への教育」を推進。課題はあるが、夏休み等の冒険体験として、町長室、議長室、議場の見学など関心をもたせる取組みを検討。

ふるさと納税

問

善意の有効活用を

答

寄付者の思いに応える

松下 ふるさと納税は各自治体が、地元の特産品などを返礼品として贈るなど地元のPRにも役立っている。本町においても今後、積極的に推進するべきでは。現在の累積額は約520万円だが、今後、どのように使うかも重要である。

将来を担う子どもたちや、一人親家族の生徒への学費助成、町外からの移住者への祝金等、将来のまんのう町のために、有効に使われるべきだと思うが町長の考えを問う。

町長 現在、ふるさと寄付金は使用しておらず、基金として積んでいる。「まんのう町ふるさと応援寄付金等運用委員会」において検討したいと考えている。

子ども未来夢基金

問

プランの作成は

答

年次計画を早急に策定

松下 子ども未来夢基金は10億円を基金として、利子10



目標に向かって

50万円が運用。小学生を対象にスポーツ、芸術、文化面で子どもたちを支援していくとしているが、各種運動指導者、学校関係者とも充分協議した上で、プランの作成が急がれると思うが本町としては、どのように考えているのか。

町長 スポーツや、芸術、文化等で優れた子どもたちを発掘し、全国、国際大会で活躍できるように育成していく。保護者などへのサポートプログラム等も計画している。トツプアスリーとの講演会なども考えている。

3つの事業は、夏以降の実施に向けて長期的展望に立ち、計画を策定する。



松下 一美 議員



活用を図りたい 地域資源「満濃池」

地域資源活用

問 満濃池一周コースの整備は

答 ぜひやりたいと思っている



田岡 秀俊 議員

広場、浮きステージ等の整備に取り組んでいきたい。

マイナンバー

問 マイナンバー制度への対応は

答 調査研究し、広報等で周知していく

田岡 来年1月より運用が開始される社会保障・税番号制度。それにより、住民にとってどう利便性が高まるのか。効率化は図れるのか。セキュリティは大丈夫なのか。そして住民周知は、等々、どのような活用・対応を考えているのか。

町長 制度導入により、各種手続き等における時間・添付書類の削減など利便性の向上、また、給付金などの不正受給防止などの効果がある。なりすまし、個人情報漏えいなどの対策を図り、職員研修とともに国・県・中讃広域事務組合等と連携し対応していく。また、町広報7月号での制度説明など住民周知を行なっていく。

資源ゴミ

問 リサイクル率30%達成は

答 困難な状況
原因の検証を指示した



大西 豊 議員

大西 容器包装リサイクル法による分別収集事業。

6年間で資源ごみの量は205トン大幅な減少、一方可燃ごみは117トン増加。年間1000万円強の税金を投入しているが、それを住民に還元する努力が必要。

リサイクル法の基本に則り、資源ごみの分別を工夫し知恵を活かしてごみの減量化に努め、リサイクル率の向上に努めるべき。

町長 資源ごみについてご質問をいただき、適正分別の協力と資源ごみを町収集に出すことについて町広報等で啓発やお願いをしてい

たが、平成26年度の家庭ごみの収集総量は、対前年比97%で70トン

平成24年度 県下資源ごみ収集量

市	町	名	順位	一人当たり収集量
直島町	1	113.6 kg		
三木町	2	93.6		
さぬき市	3	83.9		
さぬき市	4	83.0		
東かがわ市	5	72.5		
観音寺市	6	71.5		
高松市	7	58.1		
宇多町	8	57.5		
三度町	9	55.0		
土庄町	10	54.6		
綾川町	11	54.4		
善通寺市	12	54.3		
坂出市	13	46.4		
丸亀市	14	45.3		
琴平町	15	42.6		
小豆島町	16	41.3		
まんのう町	17	38.4		
県平均		64.6		

の減少、またこの内資源ごみは対前年比92%で53トンの減少。この結果リサイクル率は25年度の25%から26年度の24%に下がり総合計画の後期目標である「ごみの資源化率30%」達成が大変困難な状況となり、残念なことであるため、原因の把握と検証を担当課長に指示した。

自治会組織のあり方

問 血の通う人間関係を

答 団結の重要性を
全町に広げたい



川原 茂行 議員

川原 本町の災害は山津波の被害が怖い。過去には、近くで集中豪雨により山が崩れ池の堤防が決壊して犠牲者が多数出た。早く避難させるために自治会組織の中で、意識が希薄ではないけない。血の通った人間関係を築くことが大事だと思う。災害有事の際に自治会内の共助活動を素早く行うことは地域性に関係がなく心の持ち方が大切であり、先進的自治会の活動を参考に各自治会にも広げていくよう行政側からも働きかけるべきではないか。

町長 仲南の自治会組織は、消防団の組織や防災訓練をしている五人組がある。文化協会は仲南だけにある。いところを全町的に広めていかなければならない。今の若い人は自治会離れをしている。特に新しい家が建ったところはその傾向が強くなってきている。

いる。人間の絆が薄れてきているという。人間の絆が薄れてきているという。人間の絆が薄れてきているという。

うことも確かだ。少子化、核家族化ということも踏まえて町として歴史・文化等を、広げていくことに今後も根気よく続けていくよう協力していきたい。



地域の絆も深まる敬老会（歌手の長浜有美さんを迎えて）

子ども医療費

問 現物支給への移行を

答 早急に対応したい



三好 勝利 議員

三好 幼小中学生の医療費の直接支払（現物支給）制度について、幼小中学生の保護者の代弁者として町当局の意向を問う（二度手間をなくせ）。

町長 本町といたしましても、子ども・子育て支援の充実を図る観点から、利便性の向上と子育て世帯の負担軽減を図るとともに、今まで、仕事や家事などで忙しく医療費支給申請を行っていただけの方に対しては、確実に医療費が助成されるよう、現物支給制度への移行を計画的に進めることが必要であると考えており、早急に対応いたします。

イノシシ捕獲の奨励金

問 施策の拡充を

答 県・国に統一的な取組を要望する

三好 イノシシ捕獲の奨励金のUP及び年間を通して奨励金の支払はできないか。



増え続けるイノシシ

町長 イノシシの捕獲奨励金は、「まんのう町有害鳥獣被害対策事業補助金交付要綱」第3条における別表により支出しており、狩猟期間である11月15日から3月15日までの間は支給しておりません。奨励金の増額については、国・県の要綱要領もあり、近隣市町との関係も重視しなければなりません。しかし、山間地域の住民は鳥獣被害に大いに疲弊していることは重々承知しており、行政としても大変苦慮しています。この問題は本町だけの対応は解決不可能であります。香川県町村会長として県及び国に統一的な取組みが可能ならびに強く要望します。

町制十周年について

問 考えは

答 秋頃記念イベント実施



藤田 昌大 議員

藤田 来年は町制施行十周年を迎えるが、記念イベントを行い全国にアピールする機会である。考え方は。

町長 十周年については本年町制要覧と町民便利帳発行の予定。記念イベントについては冠事業で機運を盛り上げ、秋頃実施したい。実行委員会を立ち上げ、提案募集も行い、町の一体化が促進できる年としたい。

公民館の耐震化

問 財産区の財産活用は

答 自治会、議会の議決があれば可能

藤田 町内5地区の耐震化は早急に進める。また、神野公民館はまんのう太鼓の保存、練習場として使用されている。改修費用が増大するが、財産区の財産活用は可能なのか。



改築を待たれる神野公民館

町長 公民館については、順次対応している。要望の強い神野地区については財産区の活用についても自治会と財産区議会の議決があれば可能である。

地域おこし

問 まんのう町に薬草林を

答 支援体制の充実が必要



白川 年男 議員

白川 中山間地域の田畑はある程度整備されている。軽微な管理道を造り、薬草林に整備してはどうか。

高知、徳島県等でも産官民で事業化している。農業立町である本町の次の産業の手立てとして如何なものか。

町長 中山間地の過疎化の歯止め策や、農業振興策としても薬草栽培は成長産業分野として、大いに期待できる。

活性化を推進するための戦略的作物として振興を図る必要があると考える。

河川整備

問 サイクリング道等を

答 国・県に整備の要望をしていく

白川 本町には二級河川以上、三本の川が流れている。それぞれ森林化



森林化する河川

が著しく、イノシシ等の住家になっている。国県に要望して、伐採が必要では。又、両側にミニ広場等を計画的に造り美観を整えてはどうか。

町長 立木等で、流下能力が低下し、災害も懸念され、イノシシ等の住処にもなるため整備は必要である。

公園化等は審査が厳しいとのことであり、後の維持管理も町負担となるため、十分な検討が必要である。国・県に整備の要望をしていく。

白川 日本を取り巻く安全保障環境は厳しくなる中、小・中学生も参加して、今こそ「平和の大切さ」を後世に伝えていく時ではないか。また戦争体験者である「語り部」が子供たちに「平和の大切さ」を教える追悼式にはどうか。



平和教育のために

教育長 「語り部」の人選には老人会に依頼し、「語り部」の受け入れは、学校に実施形態などの検討を指導している。子供たちの、自由意志で参加なら問題ないが、一定の子供たちが参加するのであれば「追悼」の理念を、どのよう
に教育するのが、などの克服すべき課題があり、検討したい。

町長 いずれの箇所も通行量の多い国道のため危険な状況であり改良が必要であることは、十分理解している。町に対して早期事業化に向けての要望を強力に継続する。感知信号についても、交通安全現地診断調査に申請する。

町長 育樹祭にあたり、今後は観光と健康ブームに的を絞って満濃池周辺整備を検討する。満濃池や、森林公園、ゴルフ場等を中核として、町おこしを推進していく。観光大使については検討したい。

戦没者追悼式

問 「語り部」と小・中学生を追悼式に

答 克服すべき課題あるも検討したい



白川 正樹 議員

国道の改良

問 交差点の改良等を

答 県に対して要望する

白川 公民館北側の歩道幅の狭い箇所の改良と町道・県道・国道が交わる佐文交差点の改良と工業団地から国道に合流しやすいように感知信号の設置を。

町おこし

問 町の名前が広まるような施策を

答 次の一手を矢継ぎ早に打つ



合田 正夫 議員

イノシシ肉の活用

問 処理・加工場を

答 課題の解決を検討

合田 イノシシ肉は、牛肉や豚肉に比べ疲労回復、老化の防止・改善、又美容や健康に良い「アンチエイジング」として注目されるようになってきている。

他県では、研究して、ペットフードなどの加工食品を作っているところもある。国会議員もイノシシ肉の試食を行うなど地域振興として進めている。本町も早期に取り組みを始めることが必要と考えるが。

町長 イノシシなど、野生鳥獣を食肉として商業ベースに乗せることができれば需要の増加と共に駆除を促進できると思われる。関係組織、団体との連絡を密にしながら問題点を確認し対応策を検討することが有効と考える。



早急に対応を

合田 平成29年秋、満濃池森林公園で、第41回全国育樹祭が開催される。全国にまんこの町の名前が広まる絶好の機会である。

育樹祭に絡めて地域活性化、及び満濃池周辺整備はどのように考えているのか。

観光大使も必要では。

町長 育樹祭にあたり、今後は観光と健康ブームに的を絞って満濃池周辺整備を検討する。

満濃池や、森林公園、ゴルフ場等を中核として、町おこしを推進していく。観光大使については検討したい。

議会から
こんにちは
No.10



夢はフラダンサー

「フラダンスを始めた人は、みるみる健康的に美しくなっていくんですよ。その変化には側で見ている私もおどろくとも嬉しくなります。」と吉野公民館の館長さん。今回は、吉野公民館のフラダンス同好会におじゃましました。

「フラダンスが楽しくて、練習の日を心待ちにしています。」楽しさが溢れるように皆さん語ってくれました。「華やかな舞台衣装、髪飾り、レイを身につけると日常生活では得られない新鮮で楽しい気分になります。」

フラダンス同好会

「はじける笑顔」「溢れる^{あふ}楽しさ」



～南の風に乗って～

「使い慣れない体の動きを覚えることは、脳の刺激にもなるし、自分が楽しむことで精神的にも大変良いんですよ。」と皆さんのほじける笑顔がとても印象的

でした。神野和江先生の楽器を打つリズムに合わせて、子どもたちも大人に負けないぐらい熱心に練習に取り組みました。髪飾りが、子ども



アロハ・オエ (わが愛をあなたに)

吉野公民館

月3回 木曜日 13:00～14:00
14:00～15:00
土曜日 13:30～14:30

お問い合わせ

☎0877-79-3803

もたちの可愛さを一層ひきたてていました。皆さんも、一緒にフラダンスを楽しみませんか。

あしがき

編集委員 合田 正夫

梅雨の季節も終わり夏空のまぶしいこの頃です。議会の審議内容をよりわかりやすく伝えるのが「議会広報誌」です。毎回試行錯誤をくり返し苦労の中にもやりがいを感じながら編集に取り組んでいます。「伝える」ではなく「伝わる」広報誌の作成に向け編集委員一同、さらに努力してまいります。

議会広報特別委員会

- 委員長 白川 正樹
- 副委員長 竹林 昌秀
- 委員 松下一美
- 委員 三好 郁雄
- 委員 合田 正夫
- 委員 川西米希子

今月の表紙
仲南子ども園

「ワー」、「きゃっ楽しい」あちらこちらから子どもたちの楽しそうな声が聞こえていました。

7月初旬、仲南こども園でも子どもたちが大好きなプール遊びが始まりました。

子どもたちは、新しいプールの中で、笑顔をキラキラ輝かせ、歓声をあげながら楽しい時間を過ごしていました。



●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109 まで

